

指定管理者モニタリングレポート（令和3年度）

作成日 令和4年5月23日

施 設 名	みのかも健康の森	
所 在 地	美濃加茂市山之上町7559番地	
指 定 管 理 者	名 称 可茂森林組合 代表者 代表理事組合長 可児 登 住 所 加茂郡七宗町神淵9756番地1	
指定期間・選定方法	令和3年4月1日から令和8年3月31日	公募・非公募（任意指定）
モニタリングの実施方法等	○ 運営経費の支出状況や収入状況、金銭管理等の確認 ○ 管理運営の手法や運営理念の確認 ○ 現地事務所にて帳簿確認や聴き取りにより実施	
担 当 課 （問合せ先）	産業振興部 農林課	

モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- 前年度の来園者数 41,047 人に対し、今年度は 49,230 人（+8,183 人）と増加傾向がみられた。ただし、目標人数である 73,000 人とは程遠い状況である。新型コロナウイルスの影響が理由に挙げられるが、今後も事態が改善しない限り状況は変わらないため、さらなる体制整備が必要である。
- 収支についても、3,167 千円の赤字であり、5 年連続の赤字である。来園者数の増加に伴い食堂やパターゴルフの売り上げは前年比で改善しているが、バーベキュー利用が減少している。こちらも利用に際してコロナ対策の制限を受けてることの影響が大きい、上記同様改善策を講ずる必要がある。

①経営分析に関すること

- バーベキュー利用が少ないため、食堂のメニューの充実（追加）やお菓子等取扱物販の拡充が行われた。ただし、単価としては少額であるため、それ以外の収入確保の方法が必要である。

②事業計画・実施事業に関すること

- 行事終了後には、関係者と事業実施において気が付いた点、改善した方がいい点などを洗い出し、翌年度の開催に向けよりよい事業を実施できるよう心掛けている。
- BBQ 施設で使用する炭、薪ストーブには、園内や市内で伐採された不用木や間伐材を使用するなど、経費の削減に努めるとともに環境にも配慮している。
- ワイヤー遊具(ツリートップアドベンチャー)の運営が、不定期となっている。現在、定期運営できるように調整中であるが、早急に体制構築が必要である。

③経理に関すること

- 支払いは月末締めで 15 日支払いとなっており、農協と十六銀行に口座を設けることにより、支払手数料に応じて(支払先の取引銀行)支払い口座を使い分けている。
- 収入については、毎日農協が来園し入金、必要に応じて十六銀行へ振替えている。
- 簿記に精通したものが経理を担当しており、帳簿等が適正に管理されている。
- 支出は、請求書とともに支出命令票を作成し、園長及び森林組合が確認している。
- 金庫・レジの現金・鍵の管理は、適正に行われている。

④施設管理に関すること

- 施設内の日々の見回りにより常時遊具等の状況を把握し、必要に応じてその都度整備・修繕を行っている。また、緊急の場合には即時に市担当者に連絡している。
- 施設の鍵を複数の者が所持することにより、緊急時に対応できるよう配慮している。
- 閉園時の駐車場利用者への対応は、園内放送・検索を行い、所有者が現れない場合は、連絡先を明記した貼り紙をする。
- 消防訓練・避難訓練・救命講習を実施し、利用者の安全確保を目指している。

⑤サービスに関すること

- 来園者に事故があった場合などは、状況を的確に判断し誠実に対応している。対応後には市へ事故報告を書面で報告し、注意喚起の掲示を設置するなど、善後策がとられている。
- 苦情等の処理について、園内で処理できない場合、組合・市に相談し対処している。
- アンケート用紙を常置し、提出された内容の集計を定期的に行い、その内容を職員に周知することによりサービスの向上に努めている。

⑥その他

- 情報発信は、HP への掲載、農林課から広報・記者クラブへの情報提供、管理棟内の掲示板に加え、フェイスブック、インスタグラムを活用し幅広い広報活動を行っているが、さらなる情報発信が求められる。
- 森林空間を活用したイベントを企画する等新たな取り組みがみられた。

指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(令和3年度)

総合評価	A
------	---

実施日 令和4年5月23日

担当課 農林課

対象施設	みのかも健康の森	選定方法	公募・非公募(任意指定)
設置目的	保健、保全機能の発揮される森林の整備、市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上		
指定管理者名	可茂森林組合	指定期間	R3.4.1～R8.3.31

総括	B	令和3年度	令和2年度	令和元年度	30年度	29年度	評価
① 経営分析	事業収支(円)	-3,167 千円	-1,027 千円	-22 千円	-2,027 千円	-442 千円	C
	利用料金比率(%)	7.7	8.3	17.8	18.39	19.76	C
	人件費比率(%)	66.7	69.0	64.8	65.2	64.4	A
	外部委託費比率(%)	0.55	0.64	0.52	0.48	0.47	A
	利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	519.7	575.2	401.3	526.6	446.7	C
	利用者1人当たりの市負担コスト(円)	943.81	552.7	847.51	1,254.06	1,036.92	C
	施設1㎡当たりの利用者数(人)	0.05	0.04	0.07	0.05	0.06	C

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

②実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	施設の設置目的に沿った事業を実施したか。目標を達成したか			B	事業計画、設置目的に沿った事業である。
2	収支計画との整合性はあったか			C	適切であったが赤字となっている。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			A	適正に実行されている。
4	資格者の人員配置など職員体制が適正に整えられていたか			A	シフト管理され適正である。
5	公共性・公平性が保たれていたか			A	特例がなく公共性・公平性が保たれている。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			C	利用者のアンケートにより対応を行っているが、ワイヤー遊具の運営が不十分である。
7	自主事業は適正に実施されていたか			C	雨天時の集客が見込める事業実施の必要性

③経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	指定管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			A	固有の口座があり適正に管理されている。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			A	適正に行われている。
3	指定管理業務と自主事業の会計が明確に区分して管理されていたか			C	十分とは言えない
4	帳簿が適正に記載・管理されていたか			A	帳簿が適正に管理されている。
5	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			A	体制が整えられている。
6	現金は適正に管理されていたか			B	毎日銀行の訪問がある。

④施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			A	職員による目視、専門業者による検査が行われている。
2	清掃は確実に行われたか			B	毎日実施されている。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	事務所で適正に管理されている。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	緊急連絡網が整備されている。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	避難経路には備品等の放置がされていない。避難訓練も実施されている。
6	備品は適切に管理されていたか			B	適正に管理されている。
7	駐車場の保全・管理、施設の警備等は適切に行われていたか			A	毎日の見回りによる管理が行われている。

⑤サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的にサービス向上や稼働率等の向上に取り組んだか			B	季節ごとに利用時間を変更している。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	即日対応できるようにしている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			A	経過も記入され管理されている。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	HP、FB、インスタを活用し、PRを行っている。
5	セルフモニタリングは適正に行われたか			B	アンケート調査を実施している。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	利用者のアンケートによりベンチの改修、新設を実施するなど対応している。
7	サービス向上のために職員研修等を実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	接客対応について問題はない。
8	経費縮減・費用対効果の向上(費用の最小化)を図る取組みを実施したか			A	雇用の調整、勤務人員の調整を行った。

⑥その他		総括	A	一次評価	評価理由等
1	施設の管理に係る情報の管理や情報公開は適正に行われたか			B	市広報及び組合員だより等適正に発信している。FBやインスタを開設して随時発信している。
2	個人情報が適正に利用・管理されていたか			A	適正に管理され目的外には利用されていない。
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	管理棟の暖房は整備で発生した伐木を利用している。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			A	加入している。
5	利用者及び職員の安全管理に関する体制・仕組みが適切に整えられていたか			A	消防訓練、遊具点検など適切に行われている。
6	労働法令を遵守し、雇用・労働条件への適切な配慮がされていたか			A	適切に対応されている。
7	地域との連携・協働は図られたか。まちづくりに配慮した事業を推進したか			A	地域住民と周辺の整備事業を実施している。
8	市と連絡を密にしていたか			A	市との連絡体制は取れている。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支(円)	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要である。
◆利用料金比率(%)	利用料金収入／収入×100	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率(%)	人件費／支出×100	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎていないかを評価できる。
◆外部委託比率(%)	外部委託費合計／支出×100	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎていないか評価できる。
◆利用者1人当たりの管理運営コスト(円)	支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する管理運営コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者1人当たりの市負担コスト(円)	市の支出／延利用者数	利用者1人当たりに対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設1㎡当たりの利用者数(人)	延利用者数／延床面積	施設1㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

※過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準に達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数以上である C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが半数未満である D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数以上である B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが半数未満である C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

令和4年5月23日

指定管理者名	可茂森林組合	担当課	農林課
指定期間	令和3年4月1日から令和8年3月31日	選定方法	公募・非公募(任意指定)
施設名	みのかも健康の森	施設の種類	森林公園
所在地	美濃加茂市山之上町7559番地		
設置根拠条例等	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上		
実施事業	みのかも健康の森の運営、管理		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	1,069,268 ㎡			駐車場 台数	300 台		
	内借地面積	1,013,947 ㎡	契約期間	30 年		借地料	950,000 円	
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間			賃借料		
	建物の内容	管理棟、バーベキュー広場、777階段、ファミリーゴルフ場、アスレチック 等						
	主要な建物の 建築年月	平成6年3月			取得 時期			
	延床面積	1,067.81 ㎡		構造	S造		階数	1階
	耐震基準	新耐震基準	耐震 診断	不要	耐震 補強	不要	Is値	
	ユニバーサル デザイン化 状況	実施 一部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者 用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	大規模修繕 実施状況							
留意事項								

3. 管理・運営の現況

開館日数	306 日	休館日	毎週水曜日	開館時間	9:00～17:00 10月～3月は16:00まで
職員数等 管理体制	可茂森林組合:嘱託職員4人、作業員6人、臨時職員4人 計14人 美濃加茂市:担当職員(兼務)1人				

4. 施設の維持管理コスト等

市の収支状況	(単位:千円)		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	指定管理導入前
	支出	支出合計	46,464	22,688	59,707	68,562	-
		人件費	0	0	0	0	-
		修繕料・工事請負費	29,880	5,744	42,217	51,786	-
		光熱水費	0	0	0	0	-
		委託費・指定管理料	14,474	14,844	14,486	15,384	-
		賃借料	950	950	950	950	-
		その他	1,160	1,151	2,054	442	-
	収入	収入合計	0	0	0	0	-
		使用料・手数料					
		その他業務収益					
		業務関連収益					
指定管理者の収支状況	(単位:千円)		令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
	支出	支出総合計(a+b)	25,586	23,612	28,271	28,792	29,077
		支出合計(a)	25,315	23,612	28,271	28,792	29,077
		人件費	17,031	16,295	18,311	18,772	18,725
		事業費	6,112	4,919	7,251	6,946	7,560
		維持補修費	31	384	385	526	314
		光熱水費	2,001	1,874	2,176	2,410	2,340
		保守点検等委託費	140	140	148	138	138
		その他	0	0	0	0	0
		自主事業支出(b)	271	0	0	0	0
	収入	収入総合計(c+d)	22,418	22,585	28,249	26,764	28,634
		収入合計(c)	15,787	16,473	18,165	18,043	18,781
		指定管理料	13,352	13,352	13,114	13,114	13,114
		利用料金	1,738	1,893	5,039	4,921	5,659
		その他	697	1,228	12	8	8
		自主事業収入(d)	6,631	6,112	10,084	8,721	9,853

5. 施設の利用状況

	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	指定管理導入前
開館日数	306	296	306	306	—
森の家利用日数	13	7	123	112	—
教育機関等利用者数	112	798	3,015	4,496	—

入園者数		49,230		41,047		70,450		54,672		—		
部 屋 別 稼 働 率	名称	森の家				平日	%		土日祝	%		
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	4.2%	
	名称					平日	%		土日祝	%		
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	%	
	名称					平日	%		土日祝	%		
	午前	%		午後	%		夜間	%		計	%	

6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	餅つきイベント	利用者数等	15 人
	事業内容	豊田合成株式会社の企業の森整備活動に併せて、餅つきイベントを実施		
	事業名	豊田合成株式会社ウォークラリー	利用者数等	50 人
	事業内容	豊田合成株式会社の企業の森整備活動に併せて、園内のウォークラリーを実施		
	事業名	シイタケ菌打ち作業	利用者数等	40 人
	事業内容	林福連携事業の一環で、のぞみの丘ホスピタル、greenbird 等の利用者と協働でシイタケ原木づくりを実施		
	事業名	オータムフェア	利用者数等	80 人
	事業内容	10 月 23 日～30 日に、園内の樹種を歩きながら学ぶウォークラリーを企画したほか、木工のワークショップなどを実施		
	事業名	ツキイチ自然観察会	利用者数等	53 人
	事業内容	美濃加茂自然史研究会会員を講師に、園内の樹木や生き物を観察するイベントを実施 (6 月 15 日(5 人)、7 月 18 日(4 人)、10 月 17 日(5 人)、11 月 21 日(4 人)、1 月 16 日(5 人)、2 月 20 日(7 人)、3 月 20 日(23 人))		
事業名	花の寄せ植え	利用者数等	35 人	
事業内容	12 月 16 日に正月用の花寄せ植え、3 月 31 日に春の花寄せ植え教室を実施			
特記事項				

7. 指定管理者制度導入・更新前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	森林環境や園内設備を活用した新たな行事が企画された。(オータムフェアなど)
コスト面	園内の伐採について運営母体を活かして行った。(園内支障木の伐採) シイタケ原木の販売を行うなど、新たな取り組みがみられた。
利用者数・稼働率	新型コロナウイルスの影響で、バーベキュー場や座席などに制限が設けられたため利用が少なかった。

事業実施状況	イベント実施について、中止や人数制限を行う必要が生じた。
地域との協働等	林福連携（社会福祉協議会、まちづくり協議会）や市企業林事業に伴う団体の受け入れ（豊田合成）等を行った。
その他	ホームページを見やすく更新した。 食堂のメニュー、物販品追加等を行った。（パスタ、カレーライス等を追加、地元製造のお菓子を追加）